The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	政見放送にみられる「聞き手」設定の日韓差について
Author(s)	韓, 娥凜
Citation	現代日本語研究. 2019, 11, p. 72-90
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/73341
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

政見放送にみられる「聞き手」設定の日韓差について

A Study on Audience Design in Election Broadcasting in Korea and Japan

韓　娥凜
HAN Ahreum

キーワード：政治談話，聞き手，メディア，トピック構成

要　旨

政見放送は，放送という公の場を借りて行う選挙運動の一つである。本稿では，選挙の際に日韓の有力候補が行なう政見放送を分析し，トピック構成と聞き手設定の相違について考察した。分析の結果，日本では，当選した後の政策を説明するトピックが多かったが，韓国では対立する政党の候補への批判や相手からの政治的攻撃を反駁するトピックが多いことが分かった。そのため，日本では最初から最後まで有権者が主な聞き手として設定されているが，韓国では有権者の他にも対立する候補がもう１人の聞き手として設定される傾向がみられた。

同じ目的で行われる政見放送であっても日本は「政治家-有権者」の単一聞き手設定による情報伝達重視の談話を，韓国は「政治家-有権者-対立候補」の多重聞き手設定から感情共有重視の談話を展開していくことが明らかになった。

１．はじめに

本稿では，日韓の政治選挙の際にメディアを介して発せられる政見放送を取り上げ，その中にみられる聞き手の設定について考察する。日韓ともに政治家によって作られるディスコースは，「説得」という目的指向の強い談話である。特に，選挙運動の一環として行われる政見放送の場合，すべての立候補者が同じ条件の下で自分や自分が重んじる価値についてアピールし，有権者を説得するという点で聞き手指向性の高い談話ジャンルであると考えられる。本研究では，日本と韓国の政見放送を取り上げ，両国の政治家がそれぞれどのような談

話を構築していくのか（トピック構造）また，ディスコースの中で聞き手はどのように設定されるのかといった２つに注目し，対照分析を行う。本稿の構成は，次の通りである。２節で本研究の背景について述べ，3 節は分析データと手法を示す。４節は分析結果，５節はまとめである。

２．研究の背景

Bell（1984）はオーディエンス・デザイン（Audience Design）という概念から，話し手が聞き手に払う注意を具体的に位置づけている。話し手が聞き手に払う注意の量は，聞き手のタイプはもちろん，話し相手がどの程度関わっているのか，また，相手の立場，資格などによって変わってくる。

表１：話し手と聞き手の類型による関係図：Bell（1984）

	知られている (Known)	認められている (Ratified)	話しかけられている (Addressed)
聞き手 (Addressee)	＋	＋	＋
傍聴人 (Auditor)	＋	＋	－
偶然聞く人 (Overhearer)	＋	－	－
盗み聞く人 (Eavesdropper)	－	－	－

本研究では，話し手と聞き手が明確に存在する会話ではなく，政治家による独話の中で聞き手はどのように設定されるのかに注目する。また，話し手である政治家はその聞き手に向かってどのような談話を展開していくのかを明らかにすることでことばを言語そのものとして扱うだけではなく，そのことばが用いられる背景（いつ，誰が誰に，どのような場面で，なぜ，どのように話しているのか，または社会や文化的背景）とも関連付けて分析していく。さらに，日本と韓国といった互いに異なる社会･文化的背景における分析結果を対照し，聞き手設定における特徴を明らかにする。

３．調査概要

本節では，分析に用いる政見放送のデータと手法について述べる。3.1 節では，政見放送について，3.2 節では分析データと具体的な手法について述べる。

３．１．政見放送とは

政見放送とは，日韓両国の公職選挙法で選挙期間に行なうことが定められており，選挙期間中にラジオ･テレビの放送設備を介して発信される演説である。主に候補者の経歴や政見などが語られ，メディアを用いて公式的に行なうことができる選挙運動の一つである。政治選挙の際，政治家は街頭演説や討論会など，さまざまな方法を用いて有権者へメッセージを発信する。街頭演説は，主な聞き手は目の前に集まった不特定多数の人々であるが，多くの場合，演説を行なう話し手の支持者となる。そのため，演説の内容も自分の味方である支持者に受け入れられやすく，共感を呼び起こすことのできる話題で構成する傾向がある。一方，政見放送の場合は自分の支持者だけではなく，テレビやラジオを聴いている不特定多数の有権者を想定した話の展開が予想される。政見放送には以下のような特徴がある。

1）発話者ごとに均等な発話時間が保たれる
　—日本の知事選挙： 6 分未満
　—韓国の市・都知事選挙：10 分未満
2）演説の性格，時期，演説者の姿勢などが比較的揃いやすく，対照分析の結果に影響を与えるような変数を減らすことができる
3）事前に用意された原稿を読み上げる形式をとるため，安定した話の展開が見られる
4）メディアを介したディスコースであるため，影響力を持つ

したがって，本稿では日本と韓国の政見放送を取り上げ，政治家が目の前にいない聴衆をどのように意識し，談話を作り上げていくのかに焦点を当てて分析する。談話の目的からテレビ放送というドメインが同一である場合，日韓の政治家による談話運用にはどのような特徴がみられるのかについて考察する。

３．２．分析データと手法

本稿では，ケーススタディーとして日韓それぞれ２人の政治家が行なった政

見放送を収録し，分析に用いた。日本は東京都知事選挙，韓国はソウル市長選挙で国営放送による政見放送のみを取り上げた。詳細は以下の表２で示す。

表２：政見放送の情報

選挙情報	放送媒体	演説者	性別	所属政党	放送時期	集録時間
東京都知事選挙	NHK総合	小池百合子	女	無所属	2016.7.22	5分30秒
		鳥越俊太郎	男	無所属[1)]（野党推薦）	2016.7.21	5分10秒
ソウル市長補欠選挙	KBS1	羅卿瑗（ナ・キョンウォン）	女	ハンナラ党[2)]（与党推薦）	2011.10.24	8分40秒
		朴元淳（パク・ウォンスン）	男	無所属[3)]（野党推薦）	2011.10.24	8分58秒

2016年7月31日に日本で実施された東京都知事選挙は，第19代知事に就任していた舛添要一氏が，公私混同問題などで世間の批判を受け，6月21日付けで辞職したため,その後任を決めるために開かれた選挙である。この選挙では，歴代最多となる21人が立候補し，選挙の結果，無所属新人で元防衛大臣の小池百合子氏が当選した。韓国のデータは2011年10月26日に開かれたソウル市長補欠選挙を取り上げた。韓国のソウル市長選挙も，呉世勲（オ・セフン）ソウル市長が辞任したことで空白となった市長職を選出するために行われた補欠選挙で，下半期再補選の一つとして実施された。一地方自治団体の首長選挙ではあるが，2012年に行なわれる国会議員総選挙と大統領選挙の行方を占う前哨戦として与野党は早い段階から力を入れ，ハンナラ党の羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補と野党統一候補である朴元淳（パク・ウォンスン）による激しい選挙戦が展開されたが，朴元淳候補が羅卿瑗候補を大差で制し，当選した。

この二つの選挙は，いずれも1)前任者が不正および問題を起こしたことにより，不名誉な辞任をした後に開かれた選挙であり，2)有権者の間で現状への批判意識が共有されているという点が共通していたため，日韓の対照分析に相応しいと判断した。上述した４つの政見放送を取り上げ，演説者である政治家が政見放送の中で聞き手をどのように認識し，設定しているのかについて考察する。具体的には，以下のA)～C)に注目し，談話例を挙げつつ，日韓の相違を探

っていく。

A）どのような人を聞き手にするのか（メッセージの送り先）

B）聞き手の言及は直接的か間接的か

C）有権者はどのように特定化されるのか

４．日韓の政見放送にみられる聞き手の設定

本節では,政見放送にみられる聞き手の設定を分析した結果について述べる。4.1 節は日本の分析結果を，4.2 節は韓国の分析結果について示す。

４．１．日本

東京都知事選挙の立候補者である小池百合子氏と鳥越俊太郎氏の政見放送の分析結果を次項の表３と表４で示す。

まず，小池候補の政見放送では，冒頭で「都民の皆様」と有権者に直接呼びかけ，挨拶をした後,「国民の皆様」「都民」と言及していることが分かる。政策説明の話題において,「都民」が「女性」「男性」「子供」「シニア・高齢者」「障害者」「保育士」「介護士」と特定化され，聞き手として設定されている。有権者以外を直接聞き手として設定していることはほとんどなかったが，有権者に自分の覚悟を語り，支持を求める際に１回のみ言及されていた。

(1) [4]私は持続可能な発展ができ，世界に誇れる首都，東京へと，この東京を大改革していきたいと，自ら手を上げました。[5]私個人の再就職探しではございません。[6]この大東京を，都民にとってより暮らしやすい，働きやすい，子育てのしやすい，そんな東京にグレードアップしたいその一心なんです。[7]では，何をするか。[8]まず都政の透明化です。[9]都議会自民党の一部の強引なやり方で，都民が置き去りにされています。[10]都知事の頻繁な交代や，今回の知事選候補者選びなどもその一例です。[11]都政への信頼回復，都民のための都政，これを取り戻してまいります。

例（1）をみると，話し手である小池候補は[4]～[6]において選挙に立候補した背景を語り，[7]～[11]で自分の意志を語っている。従来の政治権力に対する問題提起が行なわれているが，この際も聞き手は有権者である都民に設定され

表３：小池候補による政見放送のトピック構成と聞き手の設定

形式的構造	トピック構成	有権者		有権者以外	
		呼格的用法	代名詞的用法	呼格的用法	代名詞的用法
導入部 [1]～[6]	【Ⅰ】自己紹介 [1]～[3]	[1]都民の皆様	[3]国民の皆様		
	【Ⅱ】所信表明 [4]～[6]		[4]都民		
展開部 [7]～[49]	【Ⅲ】都政の透明化 [7]～[16]		[14]都民		[9]都議会自民党の一部
	【Ⅳ】3つの新しい東京（ダイバーシティー、セーフシティー、スマートシティー） [17]～[42]		[20]女性、男性、子ども、シニア、障害者 [21]女性 [24]保育士、介護士 [27]高齢者 [32]人々		
	【Ⅴ】経済政策 [43]～[49]				
終了部 [50]～[55]	【Ⅵ】支持要求 [50]～[55]	[50]皆さん	[54]都民		[53]組織

表４：鳥越候補による政見放送のトピック構成と聞き手の設定

形式的構造	トピック構成	有権者		有権者以外	
		呼格的用法	代名詞的用法	呼格的用法	代名詞的用法
導入部 [1]～[7]	【Ⅰ】自己紹介 [1]～[4]		[3]関係各位の皆さん、都民の皆さん		
	【Ⅱ】所信表明 [5]～[7]				
展開部 [8]～[39]	【Ⅲ】3つの提言 [8]～[28]		[11]さまざまな人 [12]家族がある人、1人で暮らしている人、障害がある人、介護が必要な人、男性、女性、LGBTの方、子どもや大人、高齢者の方たち [13]親御さん [14]多種多様な人々 [15]すべての人 [18]労働の現場では働く人たち [21]皆さん [22]皆さん一人ひとり [23]働く人 [27すべての人たち、都民の皆さん		
	【Ⅳ】オリンピック [29]～[31]				
	【Ⅴ】がん診断政策 [32]～[35]				
	【Ⅵ】東京の多様性 [36]～[39]		[36]いろんな人 [38]異なる価値観を持つ人々		
終了部 [40]～[51]	【Ⅶ】支持要求 [40]～[51]		[41][42][44][45]皆さん [46]都民 [47]市民、都民 [50」あなた		

ており，都議会自民党など，批判の対象になるものを直接言及することはなかった。「都議会自民党の強引なやり方によって都民が置き去りにされている」と述べることによって，都民を，損害を被る対象として描写し，[11]でそれらを「取り戻す」という覚悟を述べることで説得力を高めようとしていると考えられる。従来の政治権力に対抗し，有権者の味方であると自己提示をしつつ，有権者をひきつけるような設定は談話の最後にも現れている。

(2) [50]さて皆さん[51]もはやたった一人の厳しい戦いです。[52]茨の道です。[53]組織戦対一個人，女一人の戦いになってしまいました。[54]でも，私は都民の，都民による，都民のための都政を取り戻すための大義ある政策を高らかに掲げて，都民の共感を得て，この戦いに勝ち抜く思いであります。

上記の（2）をみると，小池候補は自分を組織と戦う「一個人」「女一人」と相対的な弱者として描写し，[54]で都民のための戦いであると正当化し，支持を求めていることが分かる。つまり，小池候補の政見放送において，聞き手として想定されている都民は，損害を被ってきたと描写され，女一人の厳しい戦いをしている自分の立場と同じく弱者として捉えられる。

一方，鳥越候補による政見放送では，都民への言及と同時に自分を野党統一候補として後押ししてくれた関係者を直接取り上げ，感謝を語る場面が見られた。

(3) [1]鳥越俊太郎です。[2]このたび，さまざまな関係団体，そして，都民の皆さまのご支援を受け，都知事選に立候補することを決意いたしました。[3]まずは，野党統一候補としての立候補を実現してくださった関係各位の皆さん，そして，厳しくもあたたかい目で経緯を見守ってくださった都民の皆さんに心から感謝いたします。[4]誠心誠意，その思いに答えていく覚悟です。

演説の冒頭において，聞き手である都民へのお礼を伝えると同時に，選挙の背景として自分を候補として立ててくれた関係者を聞き手として設定することにより，野党統一候補として自分の正当性を強調することができ，政見放送を視聴している有権者に自分の肯定的な情報を伝えている。その後，政策説明の話題において小池候補の政見放送のデータと同じく，有権者を具体的に取り上

げる聞き手の特定化がみられる。

(4) [11]東京にはさまざまな人が暮らしています。[12]家族がある人，1人で暮らしている人，障害がある人，介護が必要な人，男性，女性，LGBTの方，子供や大人，高齢者の方たち，そのすべての人々が安心して暮らせる住環境を作ること。[13]たとえば，保育園と待機児童は子どもとその親御さんの暮らしの問題です。[14]多種多様な人々が，互いに助けあい，NPO などと協働しながら，新しい地域コミュニティを作ることが大切です。[15]すべての人が希望を持って暮らしていける東京を目指しましょう。

例 (4) の[11]で「さまざまな人」は[12]の「家族がある人，一人暮らしの人，障害がある人，介護が必要な人，弾性，女性，LGBT の方，子供や大人，高齢者」と挙げられ，さらには「そのすべての人々」，「多種多様な人々」「すべての人」と繰り返し，言い換えられている。

(5) [40]しかし，これらの政策は，私の力だけで実現できるものではありません。[41]必要なのは，皆さんの力です。[42]皆さんと一緒になら，困ったを希望に変える，東京に変えられます。[43]本当の変化とは，上から押しつけられて行なわれるものではないはずです。[44]皆さんの声を，聞かせてください。[45]そして，皆さんの力を貸してください。[46]都政は都民から離れすぎました。[47]私はいつだって市民の側，都民の側に立ちます。[48]私にはそれしかできない。[49]しかし，その思いは誰にも負けません。[50]あなたの手に都政を，取り戻します。[51]東京を，一緒に，作りましょう！

上記の (5) は支持要求のトピックであるが，これまでの談話で「すべての人」と称されていた有権者は，「皆さん」と言い換えられており，不特定多数の都民から今談話を聞いている視聴者へ焦点が絞られ，変わっていく。この聞き手の焦点化は[50]の「あなた」という対称詞の使用で極められる。つまり，鳥越候補による政見放送で聞き手は「都民」→「(特定化された人) ＝すべての人」→「皆さん」→「あなた」とデザインされ，視聴者個人へと近づいていくという特定化が見られる。聞き手の特定化のレベルは聞き手の種類を分けるところでも現れるが，談話構成上のレベルからも観察できるものであることが分かった。

４．２．韓国

韓国の政見放送におけるトピック構成は日本の政見放送とは異なって有権者だけではなく，対立する側に直接批判や攻撃を行うなど，もう１人の聞き手として登場することが分かった。詳細は以下の表５・表６の通りである。

表５：羅候補による政見放送のトピック構成と聞き手の設定

形式的構造	トピック構成	有権者		有権者以外	
		呼格的用法	代名詞的用法	呼格的用法	代名詞的用法
開始部 [1]～[3]	【Ⅰ】自己紹介 [1]～[3]	[1]사랑하는 서울 시민 여러분 (愛するソウル市民の皆さん) [2]존경하는 국민여러분 (そして尊敬する国民の皆さん)			
主要部 [4]～[74]	【Ⅱ】デマに対する自分の立場 [4]～[25]				[11] [12] [13]그들(彼ら) [17]박후보님(朴候補) [18]φ(17) [21]진보진영이라는 분들 (進歩陳栄という方たち) [22]박원순후보측 (パク・ウォンスン候補側) [24]φ(22)
	【Ⅲ】立候補者としての覚悟 [26]～[33]	[26]존경하는 서울 시민여러분 (尊敬するソウル市民の皆さん)	[31]어려운 사람, 배려가 필요한 사람들(大変な人、配慮が必要な人々) [32]소외되고 불편한 분들 (疏外され、不自由な方々) [33]보통 사람 (普通の人)		
	【Ⅳ】予算運用 [34]～[39]		[38][39]서울시민(ソウル市民)		
	【Ⅴ】居住問題 [40]～[49]	[40]존경하는 서울 시민 여러분 (尊敬するソウル市民の皆さん)	[45](노후한 아파트)주민들 (老朽化したマンションの)住民たち [49]단독주택, 다세대주택 주민들 (一戸建てやアパートの)住民たち		
	【Ⅵ】雇用問題 [50]～[56]	[50]사랑하는 시민 여러분 (愛する市民の皆さん)	[53]청년, 여성, 4-50대 중장년층, 노인 (若者、女性、4－50代中年層、お年寄り		
	【Ⅶ】保育問題 [57]～[62]	[57]존경하는 서울 시민 여러분 (尊敬するソウル市民の皆さん)			
	【Ⅷ】所信表明 [63]～[69]	[63]시민여러분 (市民の皆さん)			
	【Ⅸ】親世代への敬意 [70]～[74]	[70]존경하는 서울 시민 여러분 (尊敬するソウル市民の皆さん)	[71]우리 부모님 세대들 (我々の親世代の方たち)		
終了部 [75]～[85]	【Ⅹ】支持要求 [75]～[85]	[75]서울시민 여러분 (ソウル市民の皆さん)	[76][79]서울 시민 모두 (ソウル市民の皆)		

表６：朴候補による政見放送のトピック構成と聞き手の設定

形式的構造	トピック構成	有権者		有権者以外	
		呼格的用法	代名詞的用法	呼格的用法	代名詞的用法
開始部 [1]~[2]	【Ⅰ】自己紹介 [1]~[2]	[1]서울시민 여러분 (ソウル市民の皆さん)			
主要部 [3]~[87]	【Ⅱ】デマに対する自分の立場 [3]~[33]				[6]그 사람들(その人たち) [13][15]한나라당(ハンナラ党) [11][12]φ [16]저 사람들(あの人たち) [19]한나라당(ハンナラ党) [22]φ [24][26]한나라당(ハンナラ党) [25]나경원후보(ナ・ギョンウォン候補
	【Ⅲ】「本当の変化」 [34]~[43]		[36]시민여러분(市民の皆さん) [38]서민과 상인분들(庶民と商人の方々)		
	【Ⅳ】ハンナラ党(与党)への批判 [44]~[63]		[45]시민(市民) [48]많은 사람들(たくさんの人たち) [49]생활터전 지키려는 시민(生活の拠より所を守ろうとする市民)		[51]한나라당 시장(ハンナラ党の市長) [53]한나라당 오세훈 시장 (ハンナラ党のオ・セフン市長) [55]한나라당 (ハンナラ党) [57]한나라당 시장 (ハンナラ党の市長) [60]이명박, 오세훈 두 전임시장 (イ・ミョンバク、オ・セフン二人の前任市長) [62][63]φ
	【Ⅴ】野党統一候補としての自分 [64]~[80]		[75]야권연합세력과 상식을 가진 시민 세력 (野党統一勢力と常識を持つ市民勢力) [79]서울시민 모두(ソウル市民の皆)		
	【Ⅵ】市政運営 [81]~[87]				
終了部	【Ⅶ】支持要求 [88]~[95]		[91]서울시민(ソウル市民) [93]시민 여러분(市民の皆さん)		[90]저 사람들(あの人たち)

まず，羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補による政見放送では，聞き手への呼びかけが４人のうち最も多く用いられていた。[1]，[2]，[26]，[40]，[50]，[57]，[70]，[75]における「尊敬するソウル市民の皆さん」「愛する市民の皆さん」などの呼びかけによる聞き手の特定化は，談話全体の話題が変わる段落の冒頭で現れている。「デマに対する意見表明」のトピックのみ，このような呼び

かけの使用がみられなかったが，直前のトピックである「自己紹介」ですでにメッセージの送り先を明示しているため，言及がなくても市民が聞き手として設定されていることが分かる。

(6) [1]사랑하는 서울 시민 여러분,[2]그리고 존경하는 국민 여러분. [3]한나라당 서울시장후보 기호 1 번 나경원입니다. [4]저는 공직후보의 자질 검증은 반드시 필요하다고 생각합니다.[5]그러나 거짓과 왜곡으로 포장한 흑색선전은 결코 검증이 될 수 없습니다.[6]처음엔 '시민사회의 지도자'라고 해서 기대도 해보았습니다.[7]하지만 정치판에 들어오면 어쩔 수 없겠지 하고 참아도 보았습니다.[8]그런데 이건 해도 너무합니다.[9]엄마로서 결코 공개하고 싶지 않았던,제 딸아이의 문제까지 그들은 저를 공격하기 위해 이용했습니다. [10]장애를 가진 제 딸아이의 병원 치료 사실까지 왜곡하고, 이제는 근거 없이 제가 어디를 고쳤다고,고액 성형 수술 의혹까지 지어내고 있습니다.[11]참으로 기가 막힙니다.[12]이것은 저 나경원만의 문제가 아니라 제가 여성후보이기 때문에 그들이 가하는 정치 테러입니다.[13]그들은 5 백여만원 치료비를 1 억원이라 부풀려 강남 고액 클리닉이라고 낙인찍었습니다. [14]기가 찰 흑색 선전입니다.[15]정치공세입니다.

[1]愛するソウル市民の皆さん[2]そして，尊敬する国民の皆さん[3]ハンナラ党ソウル市長候補記号 1 番羅卿瑗（ナ・キョンウォン）です。[4]私は公職候補の資質検証は必ず必要だと思います。[5]しかし，嘘と歪曲で包んだデマは決して検証にはなりません。[6]最初は「市民社会の指導者」と名乗るので期待もしてみました。[7]でも政治の政界に入るとしょうがないだろうと思い，我慢もしてみました。[8]しかし，これはあまりにもひどいです。[9]母として絶対に明らかにしたくなかった私の娘の問題まで彼らは私を攻撃するために利用しました。[10]障害のある私の娘の病院治療事実まで歪曲し，もう根拠もなく私がどこかを直したと，高額の美容整形の疑惑まで作り出しています。[11]本当にあきれます。[12]これは私羅卿瑗（ナ・キョンウォン）だけの問題ではなく，私が女性候補だから彼らが与える政治テロです。

[13]彼らは五百万ウォンぐらいの治療費を１億ウォンと誇張し，江南《ソウルの地名》の高額クリニックだとレッテルを張りました。[14]あきれてしまうデマです。[15]政治攻撃なんです。

上記の（6）をみると，羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補は冒頭で「愛するソウル市民の皆さん」「尊敬する国民の皆さん」と呼びかけ，その後展開される話の聞き手が有権者であることを示している。しかし，見かけ上の聞き手は有権者となっているが，[9][12][13]のように「彼ら（対立する側）」と言及し，自分に向けられた批判への反論を行なっており，有権者以外の聞き手を想定した談話展開がみられる。Bell（1984）による聞き手の階層化から説明すると，直接呼びかけられている有権者も,[9][12][13]のように話の中で言及されている対立する勢力もすべて傍聴人（Auditor）に該当する。政治ディスコースの場面では，Bell（1984）で述べる傍聴人（Auditor）と偶然聞く人（Overhearer）の間にさらにもうひとつの階層が存在する可能性があると考えられる。つまり，羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補による政見放送では，表面的には有権者が聞き手として設定されているが，一部の話題においては有権者以外の対象も聞き手として想定されており，それまでの政治攻撃に対する抗議の場として談話を構成していることが分かる。以下の（14）と（15）をみると，[17]と[18]でメッセージの送信先は相手の候補である朴元淳（パク・ウォンスン）になっており，有権者は羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補が朴元淳（パク・ウォンスン）候補に抗議する内容を聞かされる側になる。

(7) [17]박 후보님도 자식을 둔 아버지가 아니신가요?[18]저도 할 말이 없지 않지만,이 자리에서 꺼내진 않겠습니다.

[17]朴候補も子供の居るお父さんじゃないですか。[18]私も言いたいことがないわけではありませんが，この場でその話を出すことはしません。

(8) [21]늘 양성평등을 주장해오던, 소위 진보 진영이라는 분들의 수준이, 이것 밖에 되지 않는지 참으로 답답할 뿐입니다.[22]저는 요즘 박원순 후보측을 보면서 실망감이 늘어납니다.

[23]생활정치보다는 선동정치,자발적 참여보다는 동원정치 시민 공감보다는 지역감정에 호소하는 정치행태는 구 정치의

전형입니다.[24]이러려고 정치의 변화를 얘기하셨습니까.

[21]いつも男女平等を主張してきた，いわゆる進歩陣営という方々の水準がこれしかならないのかと本当に残念なだけです。[22]私は最近朴元淳（パク・ウォンスン）候補側をみながらがっかりした気持ちだけが増していきます。[23]生活政治よりは扇動政治，自発的な参加よりは動員政治，市民共感よりは地域感情に訴える政治態度は旧政治の典型です。[24]こんなことをするために政治の変化を語りましたか。

（7）の[17]では，「박후보님（朴候補）」と直接「名前＋敬称」を使って相手を取り上げ，自分と同じく子供のいるお父さんじゃないかと問いかけている。この問いかけは形式上では朴候補に対するものであるが，実際は自分が攻撃されてきた内容を有権者に反論し，訴える目的をもつと考えられる。次に，（8）では再び有権者が聞き手として復帰し，朴候補への批判が行なわれる。（8）の[21]と[22]で「進歩陣営という方々」「朴元淳（パク・ウォンスン）候補側」へ「残念だ」「がっかり」などの批判を行ない，[23]で「こんなことをするために政治の変化を語ったのか」とさらに問いかけている。[23]でも有権者は問いかけられる対象ではなく，聞かされる側（傍聴人）となっているが，羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補が対立する側への直接的な問いかけを用いて聞き手である有権者に否定的な他者提示を行なっていると考えられる。

一方，朴元淳（パク・ウォンスン）候補による政見放送では有権者に直接呼びかけることは冒頭における自己紹介のみであった。羅卿瑗（ナ・キョンウォン）候補と同じく，デマに対する意見表明の話題が取り入れられていたが，有権者以外の聞き手の設定をみると，聞き手はずっと有権者となっており，直接聞き手として設定されることはなかった。しかし，[6]その人たち，[13][15]ハンナラ党，[16]あの人たちのように間接的に言及することにより，有権者に（批判への）同意を求めるような傾向が多くみられた。

（9）[3]오늘로 선거운동이 시작된 지 4일이 지났습니다.[4]그런데 요즘 정말 많은 분들이 제게 걱정과 염려를 전하십니다.[5]한나라당의 네거티브, 해도 해도 너무한다, 더는 봐줄 수가 없다는 겁니다.[6]국정원을 동원해 시민운동가 박원순을 사찰하고 촛불시민을 뒷조사했던 그 사람들이 다시 나섰습니다.

[7]청와대비서실장부터 한나라당 대표를 비롯한 국회의원들까지 총동원됐습니다.[8]제게 온갖 구정물, 흙탕물을 끼얹고 있습니다.[9]마치 함포사격을 가하는 것 같습니다.[10]심지어 국회 대정부질의에서까지 입에도 담지 못할 막말을 했습니다.[11]이런 게 정상인가요? [12]이런 게 선거인가요?[13]한나라당이 대한민국을, 정치를 이렇게 망치고 있습니다.[14]변화에 대한 서울 시민들의 갈망을,더 이상은 안 된다는 서울 시민들의 경고를 무참히 외면하는 것입니다.[15]한나라당이 이렇게까지 나오는 건 다 이유가 있습니다.[16]저 사람들, 새로운 정치에 대한 국민의 열망이 두려운 겁니다.

[3]今日で選挙運動が始まって 4 日が経ちました。[4]ところで,最近,本当にたくさんの方が私に心配のことばを伝えていらっしゃいます。[5]ハンナラ党のネガティブ，あまりにもひどい，もう我慢できないということです。[6]国家情報院を動員して市民運動家である朴元淳（パク・ウォンスン）を査察し，ろうそく市民（ろうそくデモに参加した市民）を内偵捜査していたあの人たちが再び乗り出しました。[7]青瓦台（チョンワデ，大統領府）の秘書室長をはじめ，ハンナラ党の代表および国会議員まで総動員されました。[8]私にあらゆる汚水と泥水をかけています。[9]まるで艦砲射撃を浴びせているみたいです。[10]その上に国会対政府質疑でも口にすることすらできない暴言をしました。[11]こんなのが正常でしょうか。[12]こんなのが選挙でしょうか。[13]ハンナラ党が大韓民国を，政治を，このようにダメにしています。[14]変化へのソウル市民の渇望を，これ以上はダメというソウル市民の警告から無惨に目をそらすのです。[15]ハンナラ党がここまでするのはすべて理由があります。[16]あの人たち，新しい政治に対する国民の熱望が恐ろしいわけです。

上記の（9）の[11]と[12]をみると，朴元淳（パク・ウォンスン）候補は有権者である聞き手に問いかけながら対立する側への批判を行なっている。また，[16]の「저 사람들（あの人たち）」ように目の前にいない相手であっても「あの」という指示詞を用いていたが，支持要求のトピックでもその使用がみられ

た。

(10) [90]새로운 서울의 아침을 막아보려는 저 사람들의 추악한 몸부림。[91]저 박원순이 서울시민을 대신하여 이겨내겠습니다.

[90]新しいソウルの朝を妨げようとするあの人たちの醜いあがき。

[91]私朴元淳（パク・ウォンスン）がソウル市民に代わって勝たせてみせます。

金水（1999）によると，日本語のア系指示詞は，眼前の空間においてコと対立する形で,話し手が直接操作出来ない遠方の空間を指すいわゆる遠称である。韓国語の「저（あの)」も眼前の空間に存在する場合のみ用いられるが，上記の例（9）の［16］と例（10）の［90］では，指示対象が眼の前にいないにもかかわらず，まるで同じ空間に存在するかのように言及している。自分と対立する相手側を批判しながら排除し，有権者と自分の一体化を図っていると考えられる。

５．政見放送における聞き手設定の日韓差

本節では，４節の分析結果に基づき，日韓の政見放送における聞き手設定の特徴について考察する。まず，両国の政見放送にみられる聞き手への意識と聞き手の種類の特徴を以下の表７で示す。

表７： 日韓の政見放送における聞き手設定の特徴

		聞き手への認識			聞き手の種類	
		知られている	認められている	話しかけられている	有権者	有権者以外
J	小池	＋	＋	－	＋	－
J	鳥越	＋	＋	－	＋	－
K	羅	＋	＋	－	＋	＋
K	朴	＋	＋	－	＋	＋
特徴		聞き手の特定化		ナラティブ・独話	自己・他者描写の有無	

日韓のいずれの政見放送においても話し手である立候補者にとって聞き手の存在は知られており（known)，その話を聞くことが認められている（Ratified)

が，聞き手が談話に参加し，直接話しかけられる（Addressed）ことは認められていなかったことからナラティブ・独話の性格が強かった。また，市民・都民のような有権者が主な聞き手として登場するが，韓国では有権者以外の他者である対立する候補も潜在的な聞き手として言及されるなど，日韓差がみられた。このような分析結果に基づき，日韓の政見放送における聞き手設定のモデルを表すと以下の通りである。

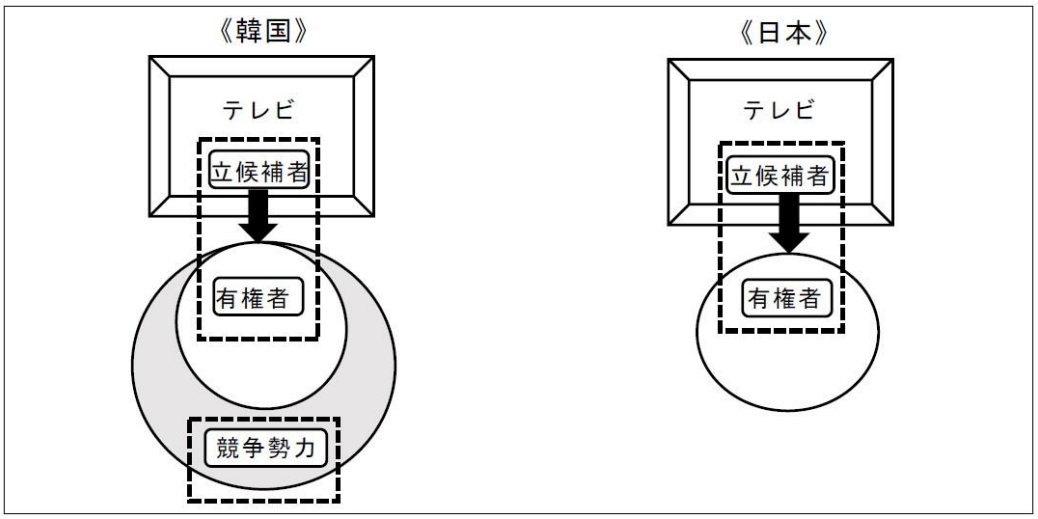

図１：政見放送にみられる聞き手設定モデル

他にも日韓ともに有権者が主な聞き手として設定されている場合，その有権者の特定化には日韓差がみられた。まず，日本では小池候補，鳥越候補ともに「皆さん」や「すべての人」「さまざまな人」などの使用が多く，有権者を特定化した場合は「高齢者」「障碍者」「女性」「LGBT」などの社会的弱者や「保育士」「介護士」「働く人たち」のように特定の職業や労働者全体を表していた。一方で，韓国の立候補者は二人とも「老朽化した住宅の住民」や「ニュータウン建設や再開発地域の住民」のように不動産開発に興味を持っている有権者を取り立てて言及していることが分かった。また，日本では保守派と改革派といったイデオロギー的対立はあまり触れなかったが，韓国の政見放送では演説者が自分の政治的イデオロギーを強調し，有権者を特定化する傾向がみられた。まず，保守派の立候補者である羅候補の政見放送からは主に「（我々の）親世代の方」

「(我々の）お母さん」「お年寄りの方」など，保守派を支持する人の多い年齢層を取り立てて言及していた。それに対し，革新派の立候補者である朴候補の政見放送からは「庶民と商人の方々」「(保守派に連帯する勢力ではない）常識を持つ市民」「(既得権の住宅再開発より）居場所を守ろうとする方」など，イデオロギー的価値を考慮し，有権者を特定化していた

同じ目的を持って行われる政見放送であっても日韓差が見られた背景には，両国の異なる社会・文化的な価値が影響していると考えられる。立候補者は，有権者に支持を訴えるため，それぞれが所属した社会的の中で共有されている価値に関連したトピックで談話を構成する。そしてこのマクロレベルが有権者である聞き手をどのように言及し，特定化するかといったミクロレベルまで影響を及ぼす。その結果，日本では「政治家-有権者」の単一聞き手設定による情報伝達重視の談話が好まれ，韓国では「政治家-有権者-対立候補」の多重聞き手設定から感情共有重視の談話を展開していくといった相違が現れたと考えられる。

６．おわりに

本稿では，選挙の際に立候補者が行なう政見放送を取り上げ，その中にみられるトピック構成と聞き手の設定について分析した。不特定多数を対象とする政見放送ではどのような人物が聞き手として想定され，ディスコースを構築していくときの手がかりとなるのかいついても考察し，以下のことが明らかになった。

(A) 政見放送におけるトピック構造

いずれの政治家も開始部では自己紹介を，主要部では具体的な政策や自分が重んじる価値について語ることが分かった。終了部においても共通して支持要求のトピックが挙げられた。しかし，それぞれのトピックを構成している発話内容をみると，日本では現状への問題提起や自身の覚悟を中心にした展開が見られる一方，韓国では必ず自分に対する政治的攻撃への反論が行なわれていることが特徴的であった。つまり，限られた時間内に有権者に訴えないといけない条件は日韓同様であるが，どのような話を優先にするのかという点では異なりが現れたのである。

(B) 聞き手の設定

日本の小池，鳥越候補のディスコースには有権者のみが聞き手として設定されている一方，韓国の羅，朴候補の政見放送には有権者のみならず，ライバル候補や対立する政治勢力も潜在的な聞き手として積極的に取り上げられていることが分かった。

(C) 日韓における相違

同じ目的で行われる政見放送であっても日本は「政治家-有権者」の単一聞き手設定による情報伝達重視の談話を，韓国は「政治家-有権者-対立候補」の多重聞き手設定から感情共有重視の談話を展開していくことが明らかになった。

本稿では，ケーススステディーとして日韓それぞれ２人の対立する立候補者の政見放送データを分析に用いたが，今回の分析から明らかになった結果が日韓の政見放送にみられる一般的な特徴であるかはさらなる検証が必要であると考えられる。今後の課題として政見放送のデータを増やし，分析を続けることで今回のケーススステディーから得られた日韓差に関する仮説を検証する。最終的には，政見放送のみならず，別の政治ディスコースとの相互考察を行うことによって日韓における政治ディスコースの構成とその要因について明らかにしたいと考えている。

注

１）「民進党」,「共産党」,「社民党」,「生活の党と山本太郎となかまたち」,「東京・生活者ネットワーク」,「緑の党グリーンズジャパン」,「市民の声ねりま」などの野党により推薦を受けていた。

２）選挙当時の党名であり，現在はセヌリ党に党名を変更している。

３）選挙当時は無所属であったが，選挙後 2012 年 2 月に当時野党の民主統合党に入党した。

参考文献

金水敏(1999)「日本語の指示詞における直示用法と非直示用法の関係について」『自然言語処理』6 (4)，pp. 67-91

Bell, A.（1984）˜Language style as audience design˜, *Language in Society*, 13, pp. 145-204.

（甲南大学非常勤講師）